取扱説明書

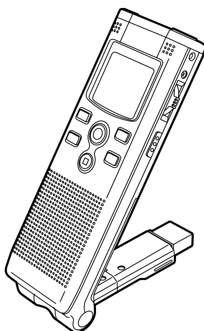
SANYO

ステレオデジタルボイスレコーダー

品番　ICR-S290RM

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は"いつでも見られる所"に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は"保証書付"になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。





E21は、三洋電機が環境保全を願い自らの基準で選定した商品シリーズの愛称です。



miniSD™はSDアソシエーションの登録商標です。



この取扱説明書の印刷には植物性大豆油インキを使用しています。



この取扱説明書は古紙配合100%の再生紙を使用しています。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせのときなどに便利です。

品　番	ICR-S290RM
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げの販売店名	電話(　)　ー

もくじ

はじめに

基本操作

応用操作

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

 **警告**

■ 分解・改造しない


分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない


禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない


水場禁止

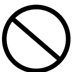
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない


禁止

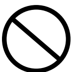
ヘッドホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない


禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。温度が5℃以下、または35℃以上の場所では使用しないでください。

■ 置き場所に注意


禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

乾電池について



■ 乾電池は正しく入れる


注意

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない


禁止

乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない


禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない


禁止

長時間(1週間程度)使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 録音内容を消去するときは、電池残量の確認をする


注意

録音内容を消去するには、電池残量表示を確認してください。消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

■クレジットカードなどをスピーカーに近づけない


注意

スピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープは本体のそばに置かないでください。磁気が壊れて使用できなくなることがあります。

乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

登録商標についての注意

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows®ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

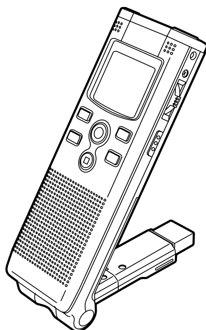


- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- miniSD™はSDアソシエーションの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

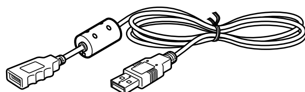
付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

- ステレオデジタルボイスレコーダー本体 1



- 専用USB接続ケーブル 1



- 単4形アルカリ乾電池 2
- 本書（保証書付） 1
- 基本操作ガイド 1
- CD-ROM 1

付属のソフトウェアについて

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。

□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などにつきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。

□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

□ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

※CD-ROMをオーディオ用プレーヤーでは再生しないでください。

主な特長

① 256MBメモリ内蔵で高音質長時間録音可能!

- MP3音声データで、約35時間30分(録音モードがLP時)の高音質録音が可能です。
- 内蔵のステレオマイクでステレオ録音ができます。
- WMA(Windows Media Audio)の再生ができます。

② パソコンと接続可能!

- USBドライバ不要で、簡単にパソコンに接続できます。(Windows98/98SEは専用USBドライバのインストールが必要となります。→51ページ「USBドライバのインストール」参照)
- フロッピーディスクなどの代わりとしてパソコンデータの一時保存にも使えます。
- 本機で作成した音声ファイルはパソコンで再生できます。(MP3が再生可能なWindows Media Playerなどのソフトウェアをインストールする必要があります。)

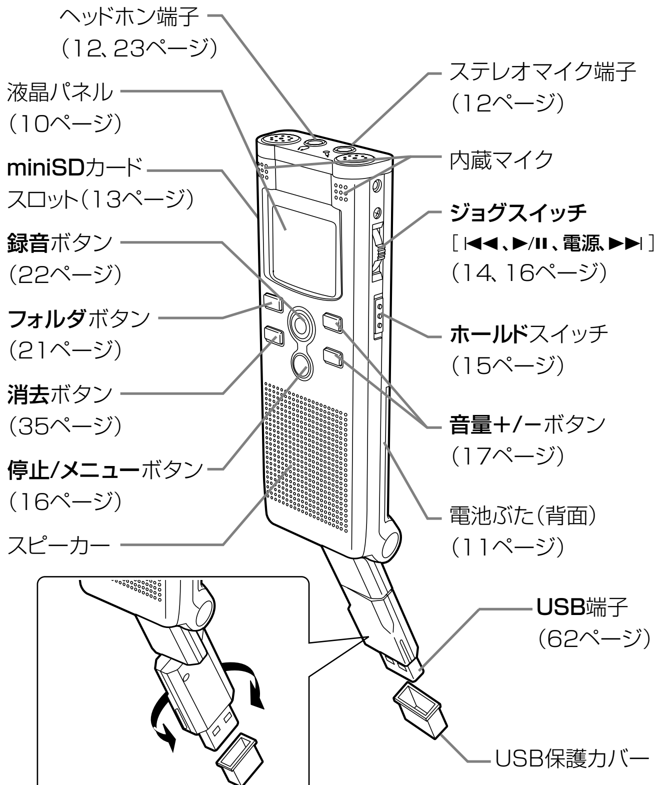
③ miniSDカード使用可能!

- 外部メモリとして市販のminiSDカードが使用可能です。

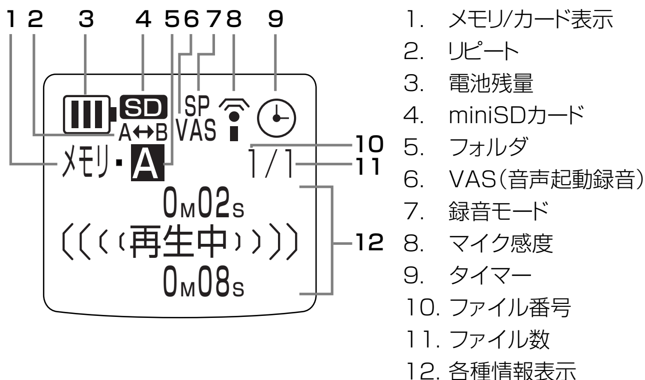
各部のなまえ

くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体



液晶パネル



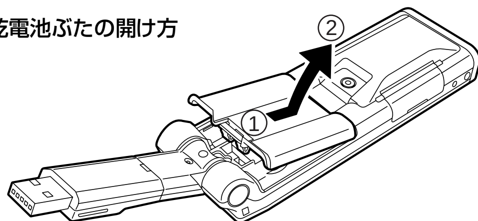
コントラストの調整

液晶パネルのコントラストの調整をすることができます。
49ページ「各種メニューモードの設定-コントラスト」参照。

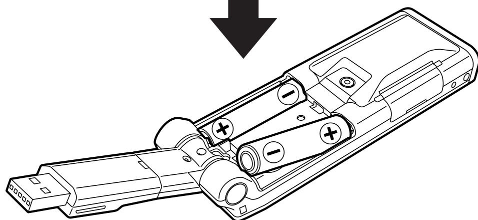
お使いになるまえに

乾電池の入れ方

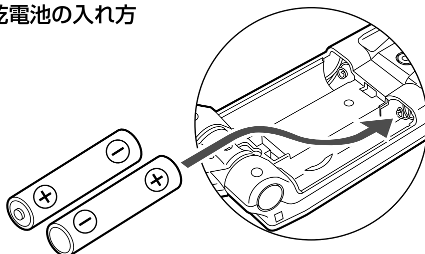
●乾電池ぶたの開け方





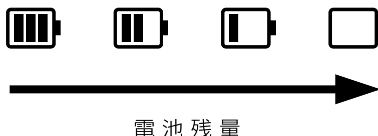


●乾電池の入れ方



電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの電池残量表示で確認してください。



電 池 残 量

電池残量表示が □ を点灯したら

新しい単4形アルカリ乾電池に交換してください。

"電池切れです…"表示後　液晶パネル表示消灯 ―――――― 電池切れ

ご注意

- 乾電池は、温度が5℃～35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった乾電池は各地方自治体の指示（条例）に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、再生一時停止中、消去中、フォーマット中に乾電池を抜くと、ファイルが壊れる可能性があります。
- 録音中、録音一時停止中に乾電池を抜くと、録音内容は保存されません。
- 付属の乾電池はモニタ用ですので、寿命が短いことがあります。

ヘッドホン（別売品）を使用する

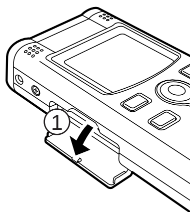
ヘッドホン端子に差し込んでください。ヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。

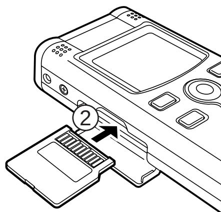
ステレオ外部マイク（別売品）を使用する

ステレオマイク端子に差し込んでください。ステレオ外部マイクを差し込むと、内蔵マイクははたらきません。（注文番号：645 056 9692）

miniSDカードを使用する

●miniSDカードの入れ方





ラベル部を下にして
カードがロックするまで挿入します。

miniSDカードを入れると液晶パネルに **SD** が表示されます。

●miniSDカードの取り出し方

1. **ジョグスイッチ**を2秒以上押して電源を切ります。
2. miniSDカード挿入口のふたを開けます。
3. miniSDカードを一度中に押し込むと、ロックが外れて取り出せます。

（2003年10月時点　64MBまで動作確認済み）

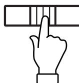
ご注意

- 操作中は、絶対にminiSDカードを取り出さないでください。
- 静電気のある場所などにminiSDカードを置かないでください。
- miniSDカードを使用すると、自動的にフォルダなどが作成されます。そのフォルダは消さないでください。
- miniSDカードは子供の手の届かない場所に保管してください。もし飲み込んでしまった場合は、ただちに医師に相談してください。

操作前準備

電源を入/切にする

ジョグスイッチ(電源)を押します。



“HELLO!”と表示され、電源が入り、電源を切る前に選択していたファイル番号と録音残時間が表示されます。(レジューム機能)



再度**ジョグスイッチ(電源)**を2秒以上押すと、“SEE YOU!”と表示され、電源が切れます。

オートパワーオフ機能

- 電源が入った状態で、約15分間放置しておくと、自動的に電源が切れます。
- 録音一時停止中に、約15分間放置しておくと、録音していたファイルを作成した後、電源が切れます。

レジューム機能

電源を切る前に選択していたファイル番号と、再生を停止させた位置を記憶しています。次に電源を入れたときは同じ位置で停止していますので、続きから再生を開始することができます。

- フォルダを切り替えたり、パソコンに接続あるいは動作中に電池を抜くとレジューム機能は解除されます。

誤動作を防止する(ホールド機能)

録音または再生中などに誤ってボタンを押し、動作を中断してしまうことを防ぎます。

操作とはたらき		液晶パネル表示
① ◀ホールド	**ホールドスイッチを矢印の方向に切り替える** ● "ホールド設定"と表示され、ホールド機能がはたらきます。 ● ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、"ホールド設定"と表示されるだけで各ボタンは機能しません。	
② ◀ホールド	**ホールドスイッチを矢印の反対方向に切り替える** ● "ホールド解除"と表示され、ホールド機能が解除されます。	

ビープ音・音声ガイドの有無を選択する

ボタンを押したときのビープ音・音声ガイドの有無を選択できます。初期設定では音声ガイドが有効になっています。
47ページ「各種メニューモードの設定-BEEP音設定」参照。

日時を設定する

録音を開始する前に、日時の設定・確認をおこなってください。

操作とはたらき		液晶パネル表示
① 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** ● メニュー画面が表示されます。	SP ファイル分割 録音モード マイク感度 BEEP音設定
② 電源	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、カレンダ設定を選択する**	SP VAS設定 カレンダ設定 タイマー設定 USBマイク
③ 電源	**ジョグスイッチを押す** ● 時刻設定画面が表示されます。	SP 【時刻設定】 2003年 12月 6日 PM 2時 6分

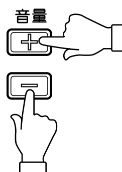
操作とはたらき		液晶パネル表示
④ ▶/II 電源	**西暦表示が反転しているので、ジョグスイッチをスライドさせ、西暦を設定してジョグスイッチを押す** ● 西暦が決定し、次の月表示が反転します。 ● 同様の操作で、月、日、12/24時間表示、時、分を設定します。最後に「分」を設定した後、**ジョグスイッチ**を押してください。 日時が設定されます。	SP 【時刻設定】 2003年 12月 6日 PM 2時 6分

最後に**停止/メニュー**ボタンを押すともとの停止状態に戻ります。
日時設定を途中でとりやめたい時は、設定中に**停止/メニュー**ボタンを押します。

● 乾電池を抜いたり、長い間電池を入れたまま放置したりすると、日時がリセットされる場合があります。

音量を調節する

● 録音・再生・停止中に**音量+/−**ボタンを押すと、下の画面が表示され音量を調節することができます。





● 音量レベル0〜20の範囲で調節できます。

録音する

風の強い場所など、環境によって録音状態が変わります。
必ず事前に試しに録音して正常に録音されることを確認してください。

録音時間について

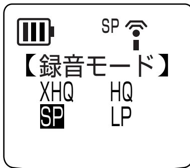
録音可能時間は録音モード(音質レベル)によって変化します。録音モードには、エクストラハイクオリティモード・ハイクオリティモード・スタンダードモード・ロングモードの4種類があり、初期設定ではスタンダードモードになっています。
録音モードと録音可能時間の関係を以下に示します。

録音モード	録音可能時間
XHQ(エクストラハイクオリティモード)	約4時間25分
HQ(ハイクオリティモード)	約8時間50分
SP(スタンダードモード)	約17時間45分
LP(ロングモード)	約35時間30分

音質を優先される場合はXHQ、通常の場合はHQまたはSP、録音時間優先の場合はLPをお選びください。

XHQ・HQ・SP選択時はステレオ録音、LP選択時はモノラル録音になります。

7 録音モードを選択する

操作とはたらき		液晶パネル表示
① 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** ● メニュー画面に切り替わります。	
② ▶/II 電源	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、録音モードを選択する**	
③ ▶/II 電源	**ジョグスイッチを押す** ● 録音モード選択画面が表示されます。	
④ ▶/II 電源	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、任意の録音モードを選択する**	

操作とはたらき		液晶パネル表示
5 電源	**ジョグスイッチを押す** ● 録音モードが確定し、メニュー画面に戻ります。	
6 停止/メニュー	**停止/メニューボタンを押す** ● もとの停止状態に戻ります。	

ご注意

各録音モードの最大録音時間とは別に、**本機で録音できる**最大ファイル数は1フォルダにつき99ファイルとなります。録音残時間が残っていても、100以上のファイルを録音することはできません。100ファイル目を録音しようとすると"ファイルが一杯です"と表示されます。空いているフォルダに切り替えるか、不要なファイルを消去してください。

2 録音するメモリ・フォルダを選択する

本機にminiSDカードが入っている場合→ ① から、
本機にminiSDカードが入っていない場合→ ② のみ
の操作になります。

操作とはたらき		液晶パネル表示
① フォルダ 2秒以上押す	**フォルダボタンを2秒以上押して、録音するメモリ(内蔵メモリ/カード)を選択する** ● メモリ/カードの表示が切り替わります(カードが入っていない場合切り替わりません)。	SD SP メモリ・A 4/4 0M00S 録音残時間 7H4M16S
② フォルダ	**フォルダボタンを押して、録音するフォルダ(A・B・C・D)を選択する** ● A・B・C・Dが切り替わります。	SP メモリ・B 4/4 0M00S 録音残時間 7H4M16S

ご注意

フォルダを切り替えると、A・B・C・Dの次にMフォルダが表示されますが、Mフォルダを選択して録音した場合、自動的にAフォルダに録音されます。Aフォルダの内容が一杯のときは録音されません。
内蔵メモリのMフォルダを選択したときは、内蔵メモリのAフォルダに録音されます。
カードのMフォルダを選択したときは、カードのAフォルダに録音されます。

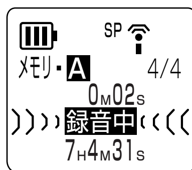
Mフォルダについては31ページをご覧ください。

3 録音を開始する

録音ボタンを押します。







"録音中"が表示され、録音が開始されます(以降、録音モードはスタンダードモードで説明します)。
現在録音しているファイル番号/ファイル数と録音経過時間、録音残時間を表示します。

録音を停止するには

停止/メニューボタンを押します。







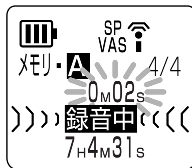
録音残時間が表示され、録音したファイルの先頭に戻ります。

録音を一時停止するには

録音ボタンを押します。







録音経過時間が点滅します。
再度**録音**ボタンを押すと、録音が再開します。

録音内容をモニタリングするには

ヘッドホン端子にヘッドホンを差し込みます。その状態で、18ページからの手順にしたがって録音をすると、録音している内容をヘッドホンから聞くことができます。**音量+/−**ボタンを押すと、モニタリング中にヘッドホンから聞こえてくる音量を調節できます。

録音(マイク)感度の設定

本機では録音感度(高/低)の設定ができます。
状況に合わせて感度の切り替えをおこなってください。
(47ページ「各種メニューモードの設定-マイク感度」参照)

ご注意

録音中にボタンなどを押すと、その音が録音されてしまう場合がありますので、ご注意ください(外部マイクを使用すると、ボタンを押す音などが録音されにくくなります)。

VAS:音声起動録音設定について

VASとは、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定のレベル以下になると録音が自動的に一時停止するという機能です。

操作とはたらき		液晶パネル表示
① 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** ● メニュー画面が表示されます。	SP ファイル分割 録音モード マイク感度 BEEP音設定
② ⏮ 電源 ▶/II ⏭	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、VAS設定を選択する**	SP VAS設定 カレンダ設定 タイマー設定 USBマイク
③ ⏮ 電源 ▶/II ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● VAS設定画面が表示されます。	SP 【VAS設定】 OFF ON
④ ⏮ 電源 ▶/II ⏭	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、ONを選択する** ● VASの文字が表示されます。	SP VAS 【VAS設定】 OFF ON

操作とはたらき		液晶パネル表示
5 ▶▶I ▶/II 電源 I◀◀	**ジョグスイッチを押す** ● VAS設定がONになり、メニュー画面に戻ります。	SP VAS VAS設定 カレンダ設定 タイマー設定 USBマイク
6 停止/メニュー	**停止/メニューボタンを押す** ● もとの停止状態に戻ります。	SP VAS メモリ・A 4/4 0M00S 録音残時間 7H4M33S
7 録音	**録音ボタンを押す** ● 録音待機状態になり、音声を感知すると自動的に録音が開始されます。	SP VAS メモリ・A 4/4 0M02S 録音中 7H4M31S

マイクセンサーの感知レベル

VAS機能をONに設定している場合は、録音中に**ジョグスイッチ**を軽くスライドさせて、マイクセンサーの感知レベルを設定することができます。

VASの感知レベルは「VAS1～VAS5」の範囲で、数値が画面表示されます（初期値＝3）。数値が高い方が小さな音でも起動しやすくなりますが、雑音の多いところでは、逆に録音が止まらない場合があります。ご使用の目的に合わせてレベルを調整してください。

● 小さな音声のときは、この機能が働かない場合があります。

※ 録音中にボタンなどを押すと、その音が録音されてしまう場合がありますので、ご注意ください（外部マイクを使用すると、ボタンを押す音などが録音されにくくなります）。

再生する

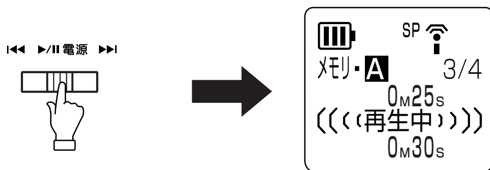
1 再生したいファイルを選択する

本機にminiSDカードが入っている場合→ ① から、
本機にminiSDカードが入っていない場合→ ② から、
の操作になります。

操作とはたらき		液晶パネル表示
① フォルダ 2秒以上押す	**フォルダボタンを2秒以上押して、再生するファイルが入っているメモリ(内蔵メモリ/カード)を選択する** ● メモリ/カードの表示が切り替わります。	SD SP メモリ・A 4/4 0M00S 録音残時間 7H4M16S
② フォルダ	**フォルダボタンを押して、再生するファイルが入っているフォルダ(A・B・C・D・M)を選択する** ● A・B・C・D・Mが切り替わります。	SP メモリ・B 4/4 0M00S 録音残時間 7H4M16S
③ ►/II 電源	**ジョグスイッチを軽くスライドして、再生したいファイルを選択する**	SP メモリ・B 2/4 0M00S 録音残時間 7H4M16S

2 再生を開始する

ジョグスイッチを軽く押します。



再生を開始します。

ファイル番号/ファイル数と〈〈〈〈再生中〉〉〉〉が表示され、その上下に再生経過時間と再生総時間を表示します。

A～Dフォルダでは、最後のファイルを再生後、停止します。

ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。
- MP3･WMAファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。
- MP3･WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。

音楽ファイル(Mフォルダ)の再生については31ページをご覧ください。

再生を途中で停止するには

停止/メニューボタンを押します。

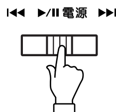


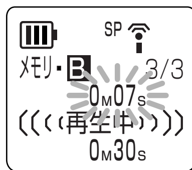



再生していたファイル番号/ファイル数とファイルの再生経過時間と録音残時間が表示されます。

再生を一時停止するには

ジョグスイッチを軽く押します。

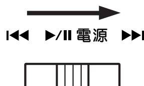


現在再生しているファイルの再生経過時間が点滅します。
再度**ジョグスイッチ**を軽く押すと、再生を再開します。

再生を早送りするには

再生中に、ジョグスイッチを ▶▶I 方向にスライドして、2秒以上押し続けます。



現在再生しているファイルを早送りします。
ファイルの最後まで早送りすると、次のファイルの先頭から早送り再生を続けます。
最終ファイルの早送り再生終了後、停止状態になります。
早送り再生中、ファイルの音声は出力されます(再生一時停止時に早送り再生をした場合は、音声は出力されません)。

ジョグスイッチから指をはなします。

早送り再生を解除します。

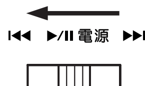
- **ジョグスイッチを押し続けると、早送り再生の速度は5段階にだんだんと変わっていきます。**

ファイル送りするには

再生、再生一時停止、または停止中に、**ジョグスイッチ**を ▶▶I 方向にスライドします。連続でファイル送りをするには、停止中に**ジョグスイッチ**を ▶▶I 方向にスライドして、押し続けます。
停止中にファイルを選択した場合は、**ジョグスイッチ**を押して再生を開始してください。

再生を早戻しするには

再生中に、ジョグスイッチを |◀◀ 方向にスライドして、2秒以上押し続けます。



現在再生しているファイルを早戻しします。
ファイルの先頭まで早戻しすると、そのひとつ前のファイルの最後から早戻し再生を続けます。
先頭のファイルの早戻し再生終了後、停止状態になります。
早戻し再生中、ファイルの音声は出力されます(再生一時停止時に早戻し再生をした場合は、音声は出力されません)。

ジョグスイッチから指をはなします。
早戻し再生を解除します。

- **ジョグスイッチを押し続けると、早戻し再生の速度は5段階にだんだんと変わっていきます。**

ファイル戻しするには

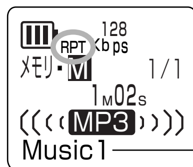
再生、再生一時停止、または停止中に、**ジョグスイッチ**を |◀◀ 方向にスライドします。連続でファイル戻しをするには、停止中に**ジョグスイッチ**を |◀◀ 方向にスライドして、押し続けます。
停止中にファイルを選択した場合は、**ジョグスイッチ**を押して再生を開始してください。

音楽ファイルの再生

Mフォルダ内のファイルを再生するときは

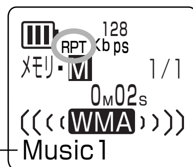
● 音楽ファイルの種類(MP3･WMA)とビットレート(Kbps)が表示されます。
● 「RPT」が表示されフォルダ内の全曲をくり返し再生します。

〔再生中〕



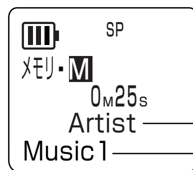
－MP3ファイル再生時－

タイトル名またはファイル名が表示されます。



－WMAファイル再生時－

〔停止中〕(MP3･WMA共通)



アーティスト名

タイトルまたはファイル名

曲によってはアーティスト名やタイトル名などの曲情報が表示されないこともあります。

ちょっとこれを!

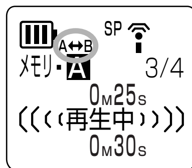
miniSDカードが入っている場合、内蔵メモリのMフォルダの再生が終わると、自動的にカードのMフォルダが再生されます。

→内蔵メモリ(Mフォルダ) → カード(Mフォルダ)

リピート機能

リピート機能を使って、ファイル中の特定の区間を繰り返し再生することができます。

操作とはたらき		液晶パネル表示
① フォルダ	**再生中に、リピート再生したい場所の開始地点でフォルダボタンを1回押す** ● A地点(リピート開始地点)が決定され、A→が表示されます。 ● 再生一時停止中にもこの操作は可能です。	SP A→ メモリ・A 3/4 0M19s 再生中 0M30s

操作とはたらき		液晶パネル表示
② フォルダ 	**次に終了地点でフォルダボタンをもう1回押す** ● B地点(リピート終了地点)が決定され、A↔Bが表示されます。これで特定の区間(A地点ーB地点)がリピート再生されます。 ● 再生一時停止中にもこの操作は可能です。 ● リピート再生中に、**フォルダ**ボタンを押すと、リピートが解除されます。 ● A-Bリピート設定中に、A地点決定後、そのまま再生中のファイルの最後まで到達した場合、そのファイルの最後をB地点と決定し、リピートを実行します。	

ご注意

A 地点やB 地点の設定後に早送り・早戻しをすると、リピート設定が解除されます。

基本操作

再生する

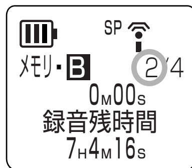
消去する

「ファイルを消去する」・「フォルダ内のファイルを消去する」で消去できるのは、本機で再生可能なMP3・WMAファイルのみです。
他の形式のファイルは消去することはできません。また、MP3・WMAファイルも再生可能なフォルダに入っていない場合、消去することはできません。

ファイルを消去する

本機にminiSDカードが入っている場合→ ① から、
本機にminiSDカードが入っていない場合→ ② から、
の操作になります。

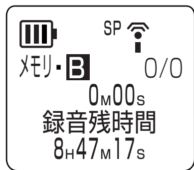
操作とはたらき		液晶パネル表示
① フォルダ	**フォルダボタンを2秒以上押して、消去するファイルが入っているメモリ(内蔵メモリ/カード)を選択する** ● メモリ/カードの表示が切り替わります。	SD SP メモリ A 4/4 0M00s 録音残時間 7H4M16s
② フォルダ	**フォルダボタンを押して、消去するファイルが入っているフォルダ(A・B・C・D・M)を選択する** ● A・B・C・D・Mが切り替わります。	SP メモリ B 4/4 0M00s 録音残時間 7H4M16s

操作とはたらき		液晶パネル表示
③	**ジョグスイッチを軽くスライドして、消去したいファイルを選択する** ● この後の ④ の**消去**ボタンを押した後でもファイルの選択はできます。	
④ 消去	**停止状態で、消去ボタンを押す** ● 1件消去実行《2秒間押し》が表示され、消去されるファイル番号が点滅します。 ● このとき、**ジョグスイッチ**を軽くスライドさせて消去するファイルの選択ができます。 ● 5 秒間放置されると、もとの停止状態に戻ります。	
⑤ 消去 **2秒以上押す**	**再度消去ボタンを2秒以上押す** ● 選択したファイルが削除され、停止状態になります。	

フォルダ内のファイルを消去する

本機にminiSDカードが入っている場合→ ① から、
本機にminiSDカードが入っていない場合→ ② から、
の操作になります。

操作とはたらき		液晶パネル表示
① フォルダ	**フォルダボタンを2秒以上押して、消去するフォルダのあるメモリ（内蔵メモリ/カード）を選択する** ● メモリ/カードの表示が切り替わります。	
② フォルダ	**フォルダボタンを押して、消去するフォルダ（A・B・C・D・M）を選択する** ● A·B·C·D·Mが切り替わります。 ● この後の ③ の**消去**ボタンを押した後でも消去するフォルダの選択はできます。	

操作とはたらき		液晶パネル表示
③ 消去 2秒以上押す	**停止状態で、消去ボタンを2秒以上押す** ● 全件消去実行《2秒間押し》が表示され、消去されるフォルダ名が点滅します。 ● 5 秒間放置されると、もとの停止状態に戻ります。 ● このとき、**ジョグスイッチ**を軽くスライドさせて消去するフォルダの選択ができます。	
④ 消去 2秒以上押す	**再度消去ボタンを2秒以上押す** ● フォルダ内のすべての再生対象ファイルが削除され、停止状態になります。	

ファイル削除操作を解除するには、**停止/メニュー**ボタンを押します。

全データを消去する(フォーマットする)

操作とはたらき		液晶パネル表示
① 停止/メニュー **2秒以上押す**	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** ● メニュー画面が表示されます。	SP ファイル分割 録音モード マイク感度 BEEP音設定
② ▶/II 電源	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、フォーマットを選択し、ジョグスイッチを押す** ● フォーマット画面が表示されます。	SP フォーマット コントラスト  SP 【初期化】 取消 メモリ(内蔵)IC カード(miniSD)

操作とはたらき		液晶パネル表示
③ ▶/II 電源	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、フォーマットするメモリを選択し、ジョグスイッチを押す** ● 「フォーマット中」→「フォーマット完了!」が表示され、メモリ内の全データが消去されます。	SP フォーマット 完了!
④ 停止/メニュー	**停止/メニューボタンを押す** ● もとの停止状態に戻ります。	SP メモリ・A 0/0 0M00S 録音残時間 8H55M24S

選択したメモリまたはカードの内容がすべて消去されます。
必要なデータは必ずバックアップしてください。

ご注意

内蔵メモリのフォーマットをすると音声ガイドは消えてしまいます。音声ガイドが必要な場合は、付属 CD-ROM のソフトウェアを実行して、再度音声ガイドをダウンロードしてください。(60ページ「音声ガイドダウンロードについて」参照)

表示する

停止状態で**停止/メニュー**ボタンを押すと、画面表示が以下の順番で切り替わります。

表示順	現在位置がVOICE (A・B・C・D)フォルダ		現在位置が MUSIC(M)フォルダ	
	再生対象 ファイル有	再生対象 ファイル無	再生対象 ファイル有	再生対象 ファイル無
1	録音残時間 SP メモリ・A 2/4 0M00S 録音残時間 6H18M32S	録音残時間 SP メモリ・A 0/0 0M00S 録音残時間 7H56M23S	アルバム-アーティスト SP メモリ・M 1/1 0M02S Artist1 Music1	現時刻 SP メモリ・M 0/0 現時刻 2003年8月6日 14時23分
2	現時刻 SP メモリ・A 4/4 現時刻 2003年8月6日 14時16分	現時刻 SP メモリ・A 0/0 現時刻 2003年8月6日 14時16分	現時刻 SP メモリ・M 4/4 現時刻 2003年8月6日 14時16分	—
3	再生総時間 SP メモリ・A 4/4 0M00S 再生総時間 0M02S	—	再生総時間 SP メモリ・M 4/4 0M00S 再生総時間 1M15S	—
4	録音日時 SP メモリ・A 2/4 録音日時 2003年8月5日 15時36分	—	—	—

アルバム・アーティスト情報は、曲によって表示されない場合があります。

タイマーを使用する

1 アラームを設定する

指定時間にお好みのファイルを再生する(またはアラーム音を鳴らす)ことができます。あらかじめ再生したいファイルを内蔵メモリのALARMフォルダ内に入れておいてください(70～73ページを参照ください)。ALARMフォルダ内にファイルがない場合は、アラーム音を10秒間鳴らします。

操作とはたらき		液晶パネル表示
① 停止/メニュー 2秒以上押す	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** ● メニュー画面が表示されます。	SP ファイル分割 録音モード マイク感度 BEEP音設定
② 電源	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、タイマー設定を選択し、ジョグスイッチを押す** ● タイマー画面が表示されます。	SP VAS設定 カレンダ設定 タイマー設定 USBマイク ▼ SP 【タイマー】 取消 アラーム設定 予約録音設定

操作とはたらき		液晶パネル表示
③	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、アラーム設定を選択し、ジョグスイッチを押す** ● アラーム時刻画面が表示されます。	SP 【タイマー】 取消 アラーム設定 予約録音設定 ▼ SP 【アラーム時刻】 14時 6分
④	**ジョグスイッチを使って、アラーム時刻を設定する** ● 時、分を設定し、**ジョグスイッチ**を押すと、メニュー画面に戻ります。**停止**ボタンを押して、もとの停止画面に戻ってください。 ● 指定時間になると、ALARMフォルダ内のファイルが再生されます。	SP 【タイマー】 取消 アラーム設定 予約録音設定

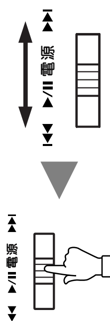
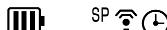
アラームを設定すると、((•)) が表示されます。アラーム実行後は、表示が消えます。

2 予約録音する

指定時間に録音を開始することができます。録音したファイルは指定したフォルダに作成されます。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1 停止/メニュー 2秒以上押す	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** ● メニュー画面が表示されます。	SP ファイル分割 録音モード マイク感度 BEEP音設定
2 電源	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、タイマー設定を選択し、ジョグスイッチを押す** ● タイマー画面が表示されます。	SP VAS設定 カレンダ設定 タイマー設定 USBマイク ▼ SP 【タイマー】 取消 アラーム設定 予約録音設定

操作とはたらき		液晶パネル表示
③	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、予約録音設定を選択し、ジョグスイッチを押す** ● 予約録音時刻画面が表示されます。	
④	**ジョグスイッチを使って、予約録音時刻、録音時間を設定する** ● 予約録音時刻(時、分)、録音時間(30m、1h、2h、MAX※から選択)を設定し、**ジョグスイッチ**を押すと、予約録音-フォルダ指定画面が表示されます。 ● miniSDカードが入っていない場合はカードは選択できません。	 ※ 30m .. 30分 1h ...... 1時間 2h ...... 2時間 MAX .. 停止/メニューボタンを押すか、録音残時間がなくなるまで

操作とはたらき		液晶パネル表示
⑤ 	**ジョグスイッチを使って、録音したファイルを作成するフォルダを指定する** ● メモリ、フォルダを選択し、**ジョグスイッチ**を押すと、メニュー画面に戻ります。**停止**ボタンを押して、もとの停止画面に戻ってください。 ● 指定時間になると、録音が自動的に開始され、録音したファイルが指定したフォルダ内に作成されます（予約録音中は、時計のマークが点滅します）。	  

録音残時間がない、ファイルがいっぱい、などの理由で録音できなかった場合は、右の画面が表示されます。





ご注意

タイマー録音する時は、乾電池の残量が充分にあることを確認してください。

各種メニューモードの設定

共通操作

1. 停止状態で**停止/メニュー**ボタンを2秒以上押します。
   - メニュー画面が表示されます。
2. **ジョグスイッチ**を軽くスライドさせて設定したいモードを選択し、**ジョグスイッチ**を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。
   - **ジョグスイッチ**を軽くスライドさせて、各項目を選択し、**ジョグスイッチ**を押すと設定が決定され、メニュー画面に戻ります。**停止/メニュー**ボタンを押すと、もとの停止画面に戻ります(設定の変更が反映されています)。
   - 設定中に、**停止/メニュー**ボタンが押された場合、設定をキャンセルしてもとの停止状態に戻ります。

各種モードと設定できる内容を以下に示します。

※ 左側モード列の画面で黒で反転しているのが初期設定値です。

モード	設定内容
ファイル分割 SP 【File分割】 現在停止位置で 分割します 取消　実行	ファイル分割機能を活用することにより不要な部分のカットや必要な部分の抽出ができます。 【File分割】 ・ **取消**:メニュー画面に戻ります。 ・ **実行**:現在の停止位置でファイル分割を実行します。 ● 分割した部分が前後のファイルで重複します。重複する時間は… XHQ…約1秒、HQ…約2秒、SP…約4秒、LP…約8秒 ● **録音時間の短いファイルやMUSICフォルダ内のファイルは、ファイル分割できません。**

モード	設定内容
録音モード 【録音モード】 XHQ HQ SP LP	録音モードを設定します 【録音モード】 ・ **XHQ**:エクストラハイクオリティモード ・ **HQ**:ハイクオリティモード ・ **SP**:スタンダードモード ・ **LP**:ロングモード ● 19ページ「録音モードを選択する」参照。
マイク感度 【マイク感度】 感度:低 感度:高	録音(マイク)感度(低/高)を設定します 【マイク感度】 ・ **感度:低** ・ **感度:高**
BEEP音設定 【BEEP設定】 OFF 音声ガイド 警告音	音声ガイド/(BEEP音)の有効/無効を設定します 【BEEP設定】 ・ **OFF**:音声ガイド・警告音(BEEP音)を解除します。 ・ **音声ガイド**:操作時、音声で設定・確認ができます。 (※ご注意:内蔵メモリのフォーマットをすると音声ガイドは消えてしまいます。音声ガイドが必要な場合は、付属CD-ROMのソフトウェアを実行して、再度音声ガイドをダウンロードしてください。60ページ「音声ガイドダウンロードについて」参照。 ・ **警告音**:警告音を鳴らします。

モード	設定内容
VAS設定 【VAS設定】 OFF ON	VASのON/OFFを設定します 【VAS設定】 ・ **OFF**:VAS機能を使用しません。 ・ **ON**:VAS機能を使用します。 ● 24ページ「VAS:音声起動録音設定について」参照。
カレンダ設定 【時刻設定】 2003年10月21日 24H 0時 0分	カレンダ設定(年月日・時分)をおこないます 【時刻設定】 **YYYY**年**MM**月**DD**日、(12/24時間表示)、**HH**時**MM**分 ● 16ページ「日時を設定する」参照。
タイマー設定 【タイマー】 取消 アラーム設定 予約録音設定	アラーム設定、予約録音の設定をおこないます 【タイマー】 ・ **取消**:タイマー設定を解除します。 ・ **アラーム設定→HH**時**MM**分:設定した時間にALARMフォルダ内のファイルを再生します(フォルダ内のどれか1つのMP3かWMAファイル)。 ファイルがない場合はALARM音(10秒)を鳴らします。 ・ **予約録音設定**:**→HH**時**MM**分**→録音する時間→録音フォルダ**:設定した時間に録音を開始し、設定した録音フォルダにファイルを保存します。

モード	設定内容
USBマイク 【USBマイク】 取消 実行 ＊ USBﾏｲｸ設定 ＊ PC接続すると USBﾏｲｸとして 使用できます。	本機をパソコンにUSB接続してマイクとして使用することができます 【USBマイク】 ・ **取消**：USBマイクを取りやめます。 ・ **実行**：USBマイクとして使用します。 ● USBマイクモードの画面になり、USBマイクとして使用できます。 解除するには**停止/メニュー**ボタンを押します。 ● USBマイクとして使用するためにはドライバのインストールが必要です。55ページ「USBマイクソフトウェアのインストール」参照。
フォーマット 【初期化】 取消 メモリ(内蔵)IC カード(miniSD)	内蔵メモリ、カードをフォーマット（全データ消去）することができます 【初期化】 ・ **取消**：フォーマットを取りやめます。 ・ **メモリ（内蔵）IC**：内蔵メモリ中の全データを消去します。 ・ **カード（miniSD）**：miniSDカード中の全データを消去します。 ● 38ページ「全データを消去する」参照。
コントラスト 【表示調整】 コントラスト 5 淡 濃	**ジョグスイッチ**を軽くスライドさせて液晶画面のコントラストを調整します 【表示調整】 **コントラスト** **淡（1）⇔濃（10）**

パソコンに接続して使う

USB接続時はパソコンから電源供給を受けるため、乾電池は消耗されません。

動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、以下のようなパソコン環境が必要になります。

■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC98-NX以外のNEC PC98シリーズ・Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種	IBM PC/AT互換機
対応OS(日本語版)	Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows Millennium Edition(Me) Windows 2000 Professional (SP3以降) Windows 98 Second Edition Windows 98
USBポート	本製品接続時にひとつ必要
サウンドボード	Windows®互換の16-bitをサポート
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンドなどのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
- Windows98/98SEは専用USBドライバが必要です。この専用USBドライバは付属CD-ROMに入っています。

USBドライバのインストール(Windows98/98SEのみ)

ここではお手持ちのパソコンに、Windows98/98SE専用のUSBドライバをインストールする方法を説明します。

Windows XP/Me/2000をご使用の場合は、Windows標準ドライバが動作しますので、インストールする必要はありません。

※ 本機を接続したときに「'(ファイル名)' が見つかりません。」と表示された場合、Windowsシステムの CD-ROMを挿入して、必要なファイルをインストールしてください。

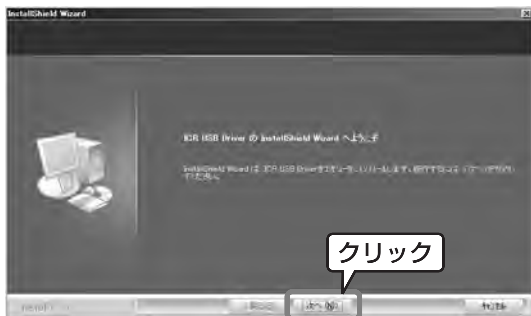
1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

2 ドライバをパソコンにインストールする

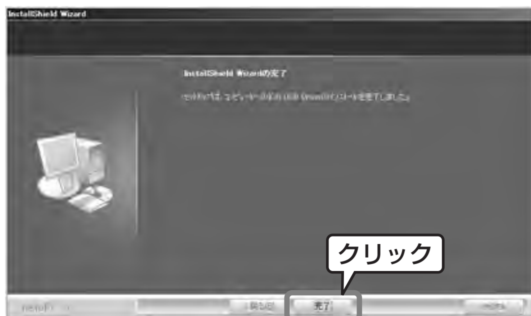
1. 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に**[Stereo Digital Voice Recorderセットアップ]**画面が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の**[Setup.exe]**をダブルクリックしてプログラムを起動してください。



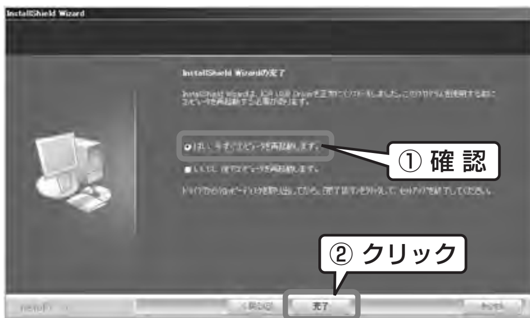
2. [Stereo Digital Voice Recorderセットアップ]画面から、[USBドライバ]をクリックします。
3. 再起動を促す画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパソコンを再起動させてください。
4. 画面の指示に従い、[次へ]をクリックしてください。



5. 以下の画面が表示されたら、[完了]をクリックしてください。



6. インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。**[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]** が選択されていることを確認し、**[完了]**をクリックしてパソコンを再起動してください。



これで、USBドライバがインストールされました。

USBドライバが正しくインストールされているか、以下の方法で確かめることができます。

ドライバが正しくインストールされているか確かめるには

1. **本機をパソコンに接続した状態(USBマイクモード以外)で、以下の確認作業をおこなってください。**
   デスクトップ上の[**マイコンピュータ**]を右クリックし、表示されるメニューから[**プロパティ**]を選択して[**システムのプロパティ**]画面を開きます。[**ハードウェア**]タブ内の[**デバイスマネージャ**]ボタンをクリックして[**デバイスマネージャ**]を開きます。
   [**ディスクドライブ**]と[**ハードディスクコントローラ**]を開いて、下図のように表示されていれば、ドライバが正しくインストールされています。



USBマイクソフトウェアのインストール

USBマイクとは

本機でUSBマイク設定(49ページ)をしてからパソコンに接続すると、USBマイクソフトウェアを使って、本機から直接パソコンに録音(保存)することができます(USBマイク使用時はパソコンから電源供給を受けるため、乾電池は消耗されません)。

詳しい操作方法は、USBマイクソフトウェアをインストール後、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

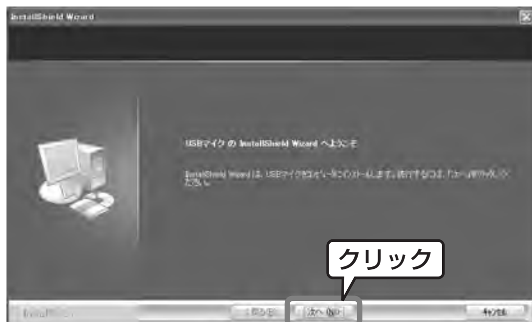
本機をUSBモードでパソコンに接続せずにインストールしてください。

2 USBマイクソフトウェアをパソコンにインストールする

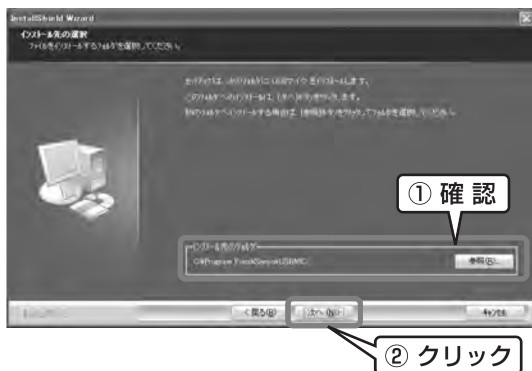
1. 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に**[Stereo Digital Voice Recorderセットアップ]**画面が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の**[Setup.exe]**をダブルクリックしてプログラムを起動してください。



2. [Stereo Digital Voice Recorderセットアップ]画面から、[USBマイク]をクリックします。
3. 再起動を促す画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。
4. 画面の指示に従い、[次へ]をクリックしてください。



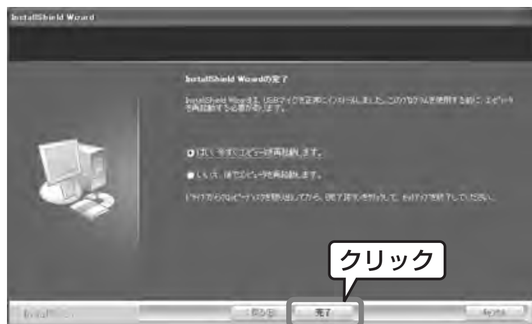
5. USBマイクソフトウェアをインストールするフォルダを設定します。[ｲﾝｽﾄｰﾙ先のﾌｫﾙﾀﾞ]を確認して、[次へ]をクリックしてください。



6. 以下の画面が表示されます。USBマイクソフトウェアをスタートアップに登録する場合には、チェックボックスにチェックを入れて、**[次へ]**をクリックしてください。



7. インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。**[完了]**をクリックしてパソコンを再起動してください。



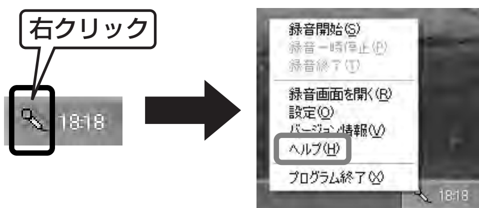
これで、USBマイクソフトウェアがインストールされました。

[スタート]メニューから**[すべてのプログラム]-[USBマイク]-[USBマイク]**を選択して、USBマイクソフトウェアを起動します。Windows画面右下の**[タスクトレイ]**にマイクのアイコンが表示されます。

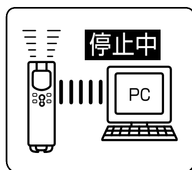


この状態で、ICR-S290RMをUSBマイクモードに設定して(49ページ「各種メニューモードの設定-USBマイク」参照)パソコンに接続するとマイクのアイコンが黄色から青色に変わります。

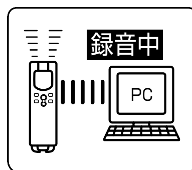
マイクのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。詳細は**[ヘルプ]**を参照してください。



[USBマイクモードでパソコンと接続]

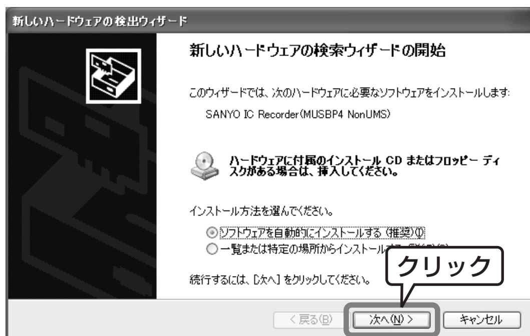


[USBマイクモードでパソコンに録音中]

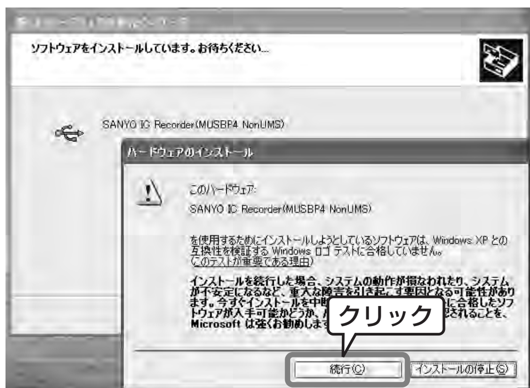


USBマイクモードで初めてパソコンに接続した時、ウイザードが自動的に起動して終了しますが、**WindowsXPのみ**以下の選択画面が起動します。

1. **[次へ]**をクリックします。



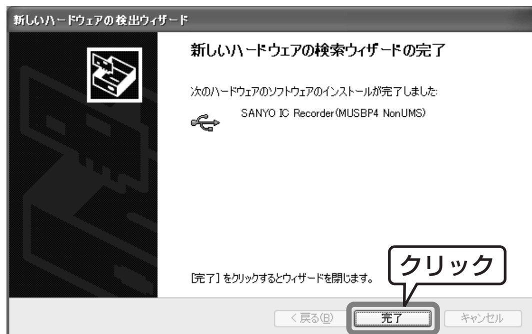
2. **[ハードウェアのインストール]**画面が表示されますので、**[続行]**をクリックします。



応用操作

パソコンに接続して使う

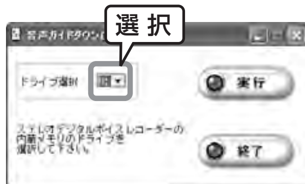
3. 以下の画面が表示されたら、**[完了]**をクリックします。



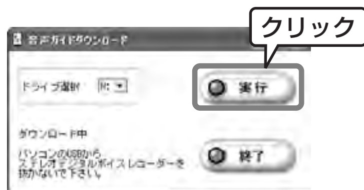
音声ガイドダウンロードについて

本機で内蔵メモリをフォーマットした場合、または誤って音声ガイドファイルを消去した場合は、以下の手順に従って音声ガイドダウンロードをおこなってください。

1. 本機とパソコンをUSB接続します。(62ページ「本機をパソコンに接続する」参照)
2. パソコンで音声ガイドダウンロード(VoiceGuideDownload.exe)を起動します。
3. ダウンロード先に、本機の内臓メモリのドライブを選択します。



4. **[実行]**ボタンを押します。音声ガイドファイルのダウンロード中にパソコンのUSB端子から本機を抜かないでください。



5. **「ダウンロード完了」**のメッセージが表示されたら、**[終了]**ボタンを押し、ソフトウェアを終了させてください。



※ 途中でエラー表示がされる場合は、そのエラー内容を確認し、再度ファイルのダウンロードを実行してください。

ご注意

音声ガイドファイルのダウンロード中に、下記の事項はおこなわないでください。

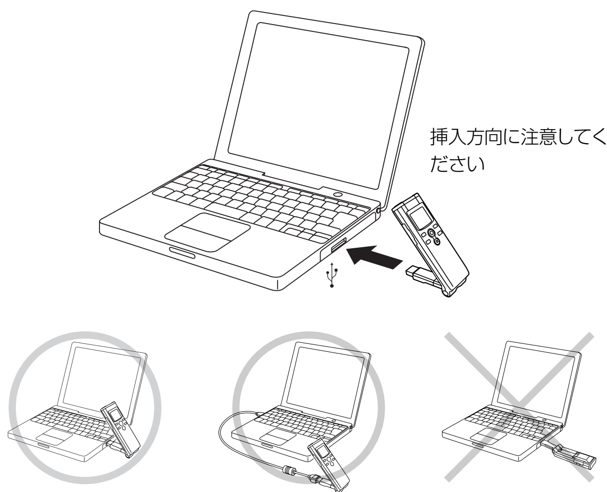
- USBケーブルを抜く。
- CD-ROMドライブのトレーをオープンする。
- パソコンの電源を切る。

本機をパソコンに接続する

本機のUSB端子を直接パソコンのUSB端子につなぐことができます。USB保護カバーを外して、挿入方向に気をつけて接続してください。また、無理な姿勢で挿入すると、本機に負担がかかり、故障する場合があります。その場合は、専用USB接続ケーブル(付属)を使用してください。

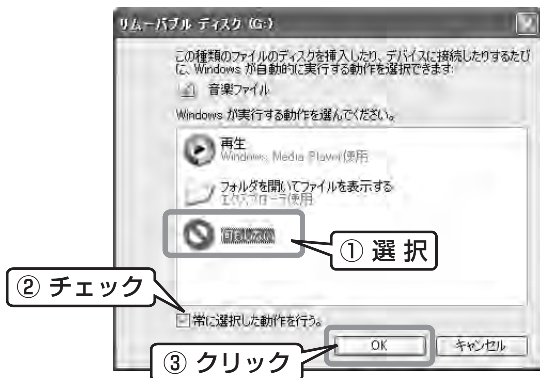
ご注意

- USB端子部は左右に回転しますが、それぞれ停止位置があります。無理に回転させると破損するおそれがありますのでご注意ください。



Windowsが実行する動作を選ぶ

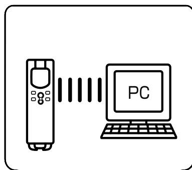
接続後、以下の画面が表示されます（Windows XPのみ）。
Windows98/98SE/Me/2000に関しては、この操作はありません。
（以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります）



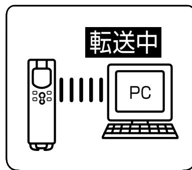
お客さまの使用環境に合わせて設定してください。
本書の例では[何もしない]を選択後、**[常に選択した動作を行う。]**にチェックし、**[OK]**をクリックしています。
これで、パソコンとの接続は完了です。

パソコンに接続している間、本機は次ページのような画面になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。
本機をパソコンから取り外すときは、64ページの「本機をパソコンから取り外す」の作業を必ずおこなってください。通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

［パソコン接続時の本機表示］



［パソコンとの通信時の本機表示］



本機をパソコンから取り外す

本機が通信中の表示になっていないことを確認してから下記の手順に従って取り外してください。

- **Windows98/98SEをご使用の場合、本機をそのままパソコンから取り外してください。**
- **Windows XP/Me/2000をご使用の場合、下記の手順で取り外してください。**

  OSによって若干画面表示が異なりますが、ご了承ください。
  （以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります）

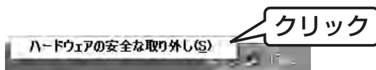
1 ［タスクトレイ］のアイコンをクリックする

Windows画面右下の**［タスクトレイ］**のアイコンをクリックします。



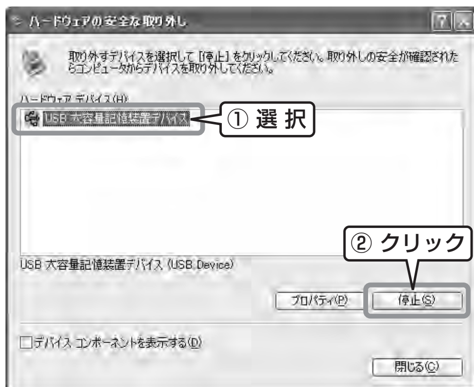
※ アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする



3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、**[停止]**をクリックします。



4 停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

[SANYO IC Recorder USB Device]が一覧内に表示されていることを確認し、**[USB大容量記憶装置デバイス]**を選択して、**[OK]**をクリックします。



本機をパソコンから取り外してください。

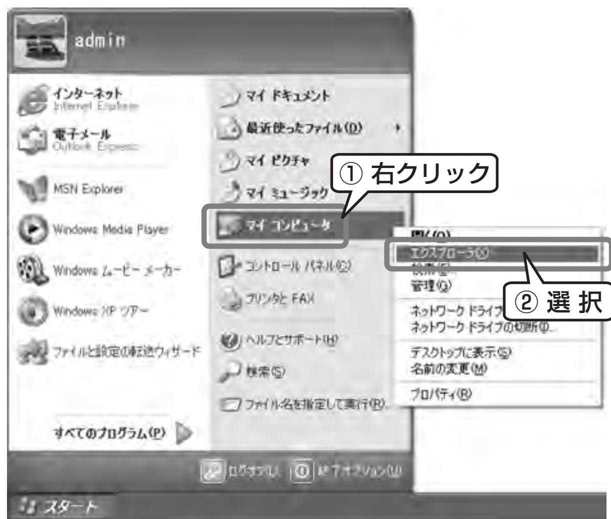
エクスプローラでの表示

1 エクスプローラを起動する

本書と同じエクスプローラ画面でご使用になる場合は、以下の方法でWindows XPの**エクスプローラ**を起動してください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合がありますが、問題はありません。

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**を右クリックして、表示されるメニューから**[エクスプローラ]**を選択します。



これで、**エクスプローラ**が起動します。

2 リムーバブルディスクの表示について

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラでマイコンピュータ内に、**二つのリムーバブルディスクとして内蔵メモリ、外部メモリ(miniSDカード)の順に表示**され、内蔵メモリ、外部メモリに記録された内容を表示することができます。



[VOICE_IC、VOICE_SDフォルダ]

本機にて録音したファイルを保存するフォルダです

- 内蔵メモリ(外部メモリ)の**A**フォルダに録音したファイルは、"IC_**A**_XXX(ファイル番号).MP3"("SD_**A**_XXX.MP3")というファイル名で、VOICE_IC(VOICE_SD)フォルダ内のAフォルダに保存されます。
- B･C･Dフォルダについてもそれぞれ同様です。
- A･B･C･Dフォルダはそれぞれ最大99ファイルまで保存できます。
- VOICE_IC(VOICE_SD)フォルダ内のファイルは、A～Dフォルダごとに決められたファイル名の規則にしたがっているものだけ再生できます。例えば、Bフォルダ内のIC_B_001.MP3(SD_B_001.MP3)は、Aフォルダに移動すると再生できません。また、ファイル名を変更すると、そのファイルは本機では再生できなくなりますのでご注意ください。

[MUSIC_IC、MUSIC_SDフォルダ]

パソコンから転送するファイルを保存するフォルダです

- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式、またはWMA形式のファイルに限ります。
- MUSICフォルダを削除したり、追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。

[DATA_IC、DATA_SDフォルダ]

リムーバルディスクとして、(EXCEL･WORDなどの)データファイルを保存するフォルダです。

内蔵メモリのみ

[ALARMフォルダ]

アラーム時に再生するMP3/WMAファイルを保存するフォルダです

● ALARMフォルダにファイルがない場合、アラーム音を鳴らします。
● 再生できるファイルは1ファイルのみです。

[GUIDE_JPフォルダ]

音声ガイド(日本語版)を保存するフォルダです。

[SETSYSTM.ICR]

パソコンの設定で隠しファイルが見えるように設定している場合、USB接続をすることのファイルを見ることができますが、このファイルを削除すると、各設定値は電源を再び入れたときに**設定値**が初期化されます。

設定値とは、音量・録音モード・再生モード・ビープ音などの設定のことです。

エクスプローラを使ってデータを転送する

66ページ「エクスプローラを起動する」と同様の手順で、エクスプローラを起動します。

1 ファイルを本機に転送する

本機で再生したいMP3ファイルを選択して、リムーバルディスクのMUSIC(M)フォルダにドラッグ&ドロップします。



ここではMUSICファイルの例を示しています。

2 ファイルをパソコンに転送する

リムーバルディスクのコピーしたいMP3を選択して、パソコンの任意のフォルダにドラッグ&ドロップします。

ご注意

- 再生したいファイルは必ずリムーバブルディスクのMUSIC(M)フォルダ内に入れてください。VOICE(A･B･C･D)フォルダに入れても再生できません。

転送するフォルダ･ファイルに関しては、68、69ページを参照してください。

パソコンから本機へデータの転送･消去をくり返しおこなうと、転送スピードが遅くなることがあります。このような場合には、電源を入れ直してください。

ご注意

- MP3･WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- お客様が転送したMP3･WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。

Media Playerを使ってデータを転送する

Windows Media™ Playerについて

Microsoft Windows Media Playerをインストールしていれば、WMAファイルを本機に転送して聞くことができます。**操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。**

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客様のパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合がありますが、問題はありません。

● **Windows Media Playerの入手方法の詳細は**
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/をご覧ください。

[スタート]メニューから**[すべてのプログラム]-[Windows Media Player]**を選択して、Windows Media Playerを起動します。



1. **[デバイスへ転送]**をクリックします。
2. 右側**[デバイス上の項目]**の下のプルダウンメニューから、転送先の**[リムーバブルディスク(内蔵メモリ、または外部メモリ(miniSDカード))]**を選択するとファイルが表示されます。表示されない場合は、**[表示]**メニューから**[最新の情報に更新]**を選択してください。

3. 本機に転送したい音楽のチェックボックスにチェックマークをつけます。

4. **[転送]**ボタンをクリックします。

[状態]が、**[転送しています]**から**[完了]**に変わったら、転送完了です。



ご注意

● 転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

WMAを本機に転送する際の注意事項

パソコンから本機に転送および再生できないケースとして、以下のものがあります。

・ 著作権保護のされている音楽ファイル
・ インターネットで購入した音楽ファイル

再生順序の指定について

本機では、音楽の再生順序を指定することができます。
お手持ちのパソコンにて再生リストを作成して、本機に転送することにより、ご希望の順番に音楽を再生することができます。

以下にプレイリストの作成方法を記述します。

1. お手持ちのパソコンに付属する文章ソフト(メモ帳など)にて例のようなプレイリストを作成します。
プレイリストの名前は必ず"PLAYLIST.m3u"としてください。



2. Explorerなどで、本機のMUSIC_ICフォルダまたはMUSIC_SDフォルダに転送します。
3. 本機をパソコンから切り離して、本機で再生をおこないます。
"MUSIC_IC"フォルダ(内蔵メモリ)と"MUSIC_SD"フォルダ(miniSD)にある音楽を再生します。
音声データの順番を変えることはできません。

なお本機は、m3uファイルに対応しております。
一部正しく再生順序を指定できない形式があります。

本機データのフォーマットについて

フォーマットをおこなう場合、必ず本機でおこなうようにしてください。
パソコンでフォーマットをおこなうと、録音が正常にできない場合があります。
フォーマットするには38ページの「**全データを消去する**」をご覧ください。
パソコンでフォーマットをしてしまった場合は、本機でフォーマットをやり直してください。

故障かな？と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　因	乾電池が正しく入っていないか、乾電池切れである
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。一度乾電池を完全に抜いてから、乾電池を正常に入れ直してください。または新しいアルカリ乾電池に替えてください。 11ページ「乾電池の入れ方」参照

原　因	内蔵メモリまたは外部メモリ(miniSDカード)が異常である
解決方法	内蔵メモリまたは外部メモリをフォーマット(初期化)してから、再度録音しなおしてください。 38ページ「全データを消去する」参照

ボタンを押しても反応しない

原　因	誤動作防止機能(ホールド機能)が設定されている
解決方法	誤動作防止機能(ホールド機能)を解除してください。 15ページ「誤動作を防止する(ホールド機能)」参照

原　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから外してください。

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 17ページ「音量を調節するには」参照

VOICE(A･B･C･D)フォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコン上でファイル名を変更すると、再生できません。ファイル名を"IC_X(フォルダ名)_XXX(ファイル番号).MP3("SD_X_XXX.MP3")"に戻してください。

MUSIC(M)フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	・再生できるファイル形式ではない ・著作権保護のされている音楽ファイル ・インターネットで購入した音楽ファイル
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、VOICE(A･B･C･D)フォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC(M)フォルダ内に転送してください。 67ページ「リムーバブルディスクの表示について」参照

原　　因	本機で再生できないデータとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3･WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

ファイル分割ができない

原　　因	ファイルの録音時間が短かすぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 LP…約32秒以上、SP…約16秒以上、HQ…約8秒以上、XHQ…約4秒以上

パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	パソコンのUSBポートに最後まで正しく差し込まれているか、またUSBケーブル使用時は本機側のUSBコネクタが正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 62ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	USBマイクモードのまま接続している
解決方法	USBマイクモードを解除してください。 49ページ「各種メニューモードの設定-USBマイク」参照

原　　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSBポートと本機を接続してください。または、パソコン本体に複数USBポートがある場合は、他のポートに接続してください。 62ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原　　因	OSがWindows 2000 SP3以下である
解決方法	Windows 2000 SP3以上にOSのバージョンをあげてください。

リムーバブルディスクの中身が見えない

原　　因	miniSDカードが入っていない
解決方法	miniSDカードを入れてください。

音声ガイドが使用できない

原　　因	BEEP音設定が音声ガイドになっていない
解決方法	メニューモードからBEEP音設定で音声ガイドを選択設定してください。 47ページ「各種メニューモードの設定-BEEP音設定」参照

原　　因	音声ガイドファイルが消去されている
解決方法	付属CD-ROMのソフトウェアを実行して再度音声ガイドをダウンロードしてください。 60ページ「音声ガイドダウンロードについて」参照

パソコンから本機へのデータの転送速度が遅い

解決方法	本機の電源を入れ直してください。 本機のフォーマットをしてください。 38ページ「全データを消去する」参照

"ファイルシステムが壊れています"と表示されて動作できない

原　　因	FAT管理システムのエラー
解決方法	内蔵メモリまたは外部メモリ(miniSDカード)のフォーマット(初期化)をおこなってください。 38ページ「全データを消去する」参照

パソコン接続に関する内容は、当社ホームページのサポートページ"http://www.sanyo-audio.com/icr/all_lineup.htm"をご覧ください。

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

内蔵メモリ	：256MB
カードスロット	：miniSDカードスロット
対応OS	：Windows XP/Me/2000 （SP3以降）/98/98SE
録音時間	：約35時間30分（LP時） 約17時間45分（SP時） 約8時間50分（HQ時） 約4時間25分（XHQ時）
録再周波数特性	：100～4kHz（内蔵マイクLP時） 100～4kHz（内蔵マイクSP時） 100～7kHz（内蔵マイクHQ時） 100～7.5kHz（内蔵マイクXHQ時）
録音フォーマット	：MP3
再生フォーマット	：MP3・WMA
再生周波数	：20～20kHz
サンプリング周波数	：16～44.1kHz
再生対応ビットレート	：16～192kbps（MP3）・32～160kbps（WMA）
S/N比	：82dB
出力端子	：USB/ステレオヘッドホン3.5φミニ/ステレオ外部マイク
動作温度	：＋5℃～＋35℃
定格出力（ヘッドホン）	：8.5mW＋8.5mW(16Ω負荷時、 JEITA/DC)
電源	：単4形アルカリ乾電池×2本
電池持続時間（JEITA）	：アルカリ乾電池 約12時間（連続録音時間） アルカリ乾電池 約12時間（連続再生時間）スピーカー再生時 ※ 連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
最大外形寸法	：幅38×高さ118×奥行き22.4mm （折りたたみ時）
質量	：約85g（電池含む）
付属品	：単4形アルカリ乾電池 (2) 専用USB接続ケーブル (1) 本書（保証書付） (1) 基本操作ガイド (1) CD-ROM (1)

※ 内蔵メモリの特性により、録音時間が短くなることがあります。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

保証書について

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の75ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ステレオデジタルボイスレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この期間は経済産業省の指導によるものです。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口:　家電製品についての全般的なご相談

修理相談窓口:　修理サービスについてのご相談

総合相談窓口

北海道地区	☎ 札幌	(011)290-1522
東北地区	☎ 仙台	(022)714-6137
関東地区	☎ 東京	(03)3815-1111
中部・北陸地区	☎ 名古屋	(052)533-5245
近畿・四国地区	☎ 大阪	(06)6994-9570
中国地区	☎ 広島	(082)297-6067
九州・沖縄地区	☎ 福岡	(092)263-7629

受付時間　9:00～17:00（1月1日～3日は除く）

郵便・FAXでご相談される場合は

●三洋電機（株）お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5

FAX (06)6994-9510

修理相談窓口　三洋電機サービス（株）

受付時間　9:00～18:30[月曜日～金曜日]
9:00～17:30[土曜･日曜･祝日]

出張修理のご依頼　その他の修理相談窓口

東日本コールセンター　東京 ☎ (03)5302-3401
西日本コールセンター　大阪 ☎ (06)4250-8400

関東･甲信越･首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

北海道地区　札　幌 ☎ (011)833-7888
東北地区　仙　台 ☎ (022)382-2213

西日本コールセンターへの転送電話番号

北陸地区　金　沢 ☎ (076)237-6650
中部地区　名古屋 ☎ (052)459-3456
中国地区　広　島 ☎ (082)293-9333
四国地区　高　松 ☎ (087)844-8321
九州地区　福　岡 ☎ (092)922-6111

沖縄地区　沖　縄 ☎ (098)944-5018
受付時間：9:00～12:00、13:00～17:30
[月曜日～土曜日(日曜、祝日および当社休日を除く)]

北 海 道 地 区

[北海道]

札　　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　　館	(0138)48-8301	〒040-0036	函館市西桔梗589-295
苫 小 牧	(0144)33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町2-2-5
旭　　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北3条7-3-3
北　　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　　路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7

東 北 地 区

[青森県]

青　　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森市大字上野字山辺29-5
八　　戸	(0178)28-9225	〒039-1103	八戸市長苗代字観音堂50-5

[秋田県]

秋　　田	(018)862-6551	〒010-0925	秋田市旭南3-2-67

[岩手県]

盛　　岡	(019)635-0136	〒020-0863	盛岡市南仙北1-13-6

[山形県]

山　　形	(023)641-1769	〒990-2432	山形市荒楯町1-21-30

[宮城県]

仙　　台	(022)384-0444	〒981-1225	名取市飯野坂3-4-8

[福島県]

郡　　山	(024)945-6793	〒963-0111	郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関東地区

[東京都]

城北	(03)3958-1261	〒173-0021	板橋区弥生町72-5
江東	(03)3685-8166	〒136-0071	江東区亀戸1-8-6
城東	(03)3607-3191	〒125-0051	葛飾区新宿4-10-15
城南	(03)3421-5171	〒154-0003	世田谷区野沢3-5-3
城西	(03)3376-3361	〒151-0073	渋谷区笹塚3-1-13
府中	(042)364-7721	〒183-0045	府中市美好町2-3-1

[山梨県]

甲府	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

[神奈川県]

横浜	(045)827-2831	〒224-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
平塚	(0463)55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮5-10-4
相模原	(042)742-2272	〒228-0805	相模原市豊町17-11

[埼玉県]

大宮	(048)664-2319	〒330-0812	さいたま市北区宮原町1-30
坂戸	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17

[千葉県]

千葉	(043)241-7311	〒260-0025	千葉市中央区問屋町5-20
鎌ヶ谷	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59

[栃木県]

宇都宮	(028)653-2811	〒321-0106	宇都宮市上横田町1302-12

[群馬県]

太田	(0276)22-7702	〒373-0015	太田市東新町72-2
高崎	(027)362-1151	〒370-0001	高崎市中尾町池の441

[茨城県]

水戸	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
つくば	(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3

[新潟県]

新潟	(025)285-2431	〒950-0971	新潟市近江244
長岡	(0258)24-0705	〒940-0029	長岡市東蔵王2-3-46
上越	(0255)43-3535	〒942-0074	上越市石橋2-2-9

中 部 地 区

[愛知県]

名 古 屋	(052) 451-3161	〒453-0804	名古屋市中村区黄金5-10
岡 崎	(0564)23-3418	〒444-0065	岡崎市柿田町1-2

[静岡県]

静 岡	(054)261-4151	〒420-0813	静岡市長沼885
沼 津	(055)963-1000	〒410-0861	沼津市真砂町3-1
浜 松	(053)461-8685	〒435-0016	浜松市和田町795-2

[長野県]

松 本	(0263)26-1107	〒390-0835	松本市高宮東1-35
長 野	(026)299-9501	〒388-8006	長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2

[岐阜県]

岐 阜	(058)246-3417	〒501-6006	羽島郡岐南町伏屋1-35

[三重県]

津	(059)228-8126	〒514-0838	津市岩田町10-3

[石川県]

金 沢	(076)237-7811	〒920-0062	金沢市割出町627

[富山県]

富 山	(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8

[福井県]

福 井	(0776)22-6082	〒918-8231	福井市問屋町1-17

近 畿 地 区

[大阪府]

大 阪	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
大 阪 南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
大 阪 東	(0729)65-1811	〒578-0903	東大阪市今米2-3-29
阪 和	(072)221-8571	〒590-0959	堺市大町西3-1-16

[奈良県]

奈 良	(0744)22-7888	〒634-0837	橿原市曲川町7-1-31

[和歌山県]

和 歌 山	(073)436-3110	〒641-0006	和歌山市中島369

近　畿　地　区（つづき）

[兵庫県]

神　　戸	(078)651-3951	〒652-0897	神戸市兵庫区駅南通2-1-11
阪　　神	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
姫　　路	(0792)96-2141	〒670-0981	姫路市西庄字八町108
洲　　本	(0799)22-2702	〒656-0101	洲本市納字横竹308-1

[京都府]

京　　都	(075)672-0877	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町41
福 知 山	(0773)27-3458	〒620-0856	福知山市土師宮町1-66

[滋賀県]

大　　津	(077)545-4221	〒520-2134	大津市瀬田1-1-5

四　国　地　区

[香川県]

四　　国	(087)843-1840	〒761-0104	高松市高松町2175-10

[愛媛県]

松　　山	(089)971-3342	〒791-8036	松山市高岡町148-1

[高知県]

高　　知	(088)860-0229	〒781-5106	高知市介良乙1044

[徳島県]

徳　　島	(088)699-4131	〒771-0219	板野郡松茂町笹木野字八北開拓 150-2

中　国　地　区

[広島県]

広　　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広3-17-5
福　　山	(084)925-3455	〒720-0077	福山市南本庄3-1-48

[岡山県]

岡　　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101

[山口県]

山　　口	(083)973-3391	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町2-6

[鳥取県]

鳥　　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107

[島根県]

松　　江	(0852)23-1183	〒690-0017	松江市西津田4-1-14

九州地区

[福岡県]

福岡	(092)928-3414	〒818-8534	筑紫野市紫6-1-1
北九州	(093)521-5286	〒802-0023	北九州市小倉北区下富野2-10-28
久留米	(0942)21-3534	〒830-0052	久留米市上津町字赤坂1890-2

[長崎県]

長崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎市本河内町3-21-43
佐世保	(0956)31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1

[熊本県]

熊本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本市南高江町3-2-88

[大分県]

大分	(097)543-3454	〒870-0822	大分市大道町3-4-32

[宮崎県]

宮崎	(0985)29-3441	〒880-0036	宮崎市花ケ島町観免883

[鹿児島県]

鹿児島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10

沖縄地区

[沖縄県]

沖縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

(060603u)

上記のお客さまご相談窓口の名称、所在地、電話番号は、変更することがありますのでご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

● 保証期間が経過した後の修理についての詳細は「保証書とアフターサービス」の項をご覧ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

ヤ行